

常磐石タイムス

発行日 毎月十日 二十五日
 定 價 一 部 金 十 銭
 發行兼編 高 橋 竹 四 郎
 編輯印刷 高 橋 竹 四 郎
 發行所 福島縣平町鍛冶町二五
 常 磐 石 タイム ス 社

戦 跡 を 顧 み て !!

言論! 文書戦! 肉弾! 始むと晝夜の
 間隙なく激戦の限りを盡した選挙戦も終局
 を告げて大風一過嵐の跡の静けさである。
 雷に政治生涯の最後を飾る佐藤翁の最高点
 の榮冠を得た事が選挙民のつゝあつた事は周知の事實
 同情の表はれなると共に同 であり氏崇拜の選挙民は同
 氏を擁立した田子健吉氏のの當選のために祈願しつ
 敏才と之を廻る幹部連の得々清き一票を投じた者のみ
 意や憶ふべしであらう。即ち亂されてゐた結果として
 ち石城地方に次いで双相の彼の大敵の挾撃を排して第
 二に當選した事は意外と
 して得た事が如實に之を物語 する者もあらうが寧ろ同氏
 つてゐる理である。

何んといつても比佐昌平氏云つてもよい。附言する郡
 はエライと云ふ丈の眞南を統轄し驚大御所の關係
 價は充分に有る而かも今期や重く前年の得票に尙一票
 の選挙は野黨としてやりに加算した事に於て絶對貧
 しい立場である。加へて同 乏搖るぎもさせ得ざりし事
 情の塊りである佐藤氏と今に於て敢へて大御所の名を
 を時めく政友會支部幹事長はづかしめなかつた處に眞
 としての智將鈴木辰三郎氏の光りがある理だ。
 の挾撃を受け、當初より氏 鈴木辰三郎氏流石は本縣政
 友氏の進出を見るあつて始 友會の智將として采配を振
 りつゝ苦戦に苦戦を重ねつ 術適中して第一回の名乗り
 へ来たつたのであつたが自にも拘はらず敵將の心膽を
 他共に警淵翁を以て任ずる寒からしめつゝ堂々當選の
 清廉にして而かも政治的に 榮冠を得て遺憾なく智將の
 眞に識見を把持する同氏の 智將たる所以を發揮した進
 總べては絶對に選挙民の腦んで將來の大敵を呼び掛け
 程を離れることなく握り飯 である。

「我れを祭りくれば我亦人
 の苦難を救ふべし」と言つ
 て瞑目したのであつたが其 陽春四月一日より本縣平町
 の當時村人が之れを聞き傳 大規模のものに昭和勲業
 へ常に今日迄供養を怠らな 博覽會を開催せらるゝこゝ
 かつたが、今は村内の徳望 博覽會の通りなるが此の博
 家大山氏が一心不乱に仕守 覺會は尤も植産工業上大な
 者として朝な夕なに敬信怠 る貢献ある有益なる事業と
 始したる以來内容尤も充實 する。

常北の名稱地

つゝ、じヶ岡の靈場

(常磐線勝田驛より約十丁)
 茨城縣那珂郡勝田村の青松松らない。左に記す由來記の
 繁茂むる樹林中の清淨地に如く標目として植樹せるつ

當選	一九、二二九票	佐藤庄太郎
當選	一六、二九六票	比佐昌平
當選	一五、七九九票	鈴木辰三郎
(次 點)	一三、一三八票	氏 家 清

常磐炭礦發達史 (一)

小田炭礦

萩原鑛業所

所長 萩原申八君

鑛城、古河、入山の大炭礦を放つてあらう。而かも進
 に次いで蕨然、旺盛を物語んで最近に優良炭さうの愈
 つてゐるものに小田炭礦が々夥多に採掘の度を増進し
 ある。數百の稼人中一人とつゝありと聞く而して炭礦
 して不平を稱する者なく孔々營業者の至難とする販路の
 としん動く有様よそながら 点に於て萩原氏は常磐炭礦
 一家人の如く満山和氣饒々 界中の信用を把持する唯一
 の聲に充ちてゐる故に 人として自他共に許し許さ
 爲めに事業の進歩は他礦の 風に帆を上げてゐる。一度
 羨望の繁榮を來して日を 同氏の温面に接し見よ必ず
 してゐる。見よ! 一度 同氏の温面に接し見よ必ず
 山に一步を踏み入れたる者 同氏の今日に於ける榮華を
 の總べてが甲乙を問はず 同氏の今日に於ける榮華を
 序整然たる礦内の空氣と 同氏の今日に於ける榮華を
 の繁榮さ氣分とに賞讃の辭 同氏の今日に於ける榮華を

櫻花爛漫の好時期に 博覽會を太平町に開催 既に準備八分通り成る

信仰者よりの奉納せる數百、じはさんくとして枝を
 本の祈願旗を見る時參拜者 交へ三百年の昔を物語つて
 の總ては一驚を喫すると共 萬の參拜者で難踏を極める
 に此の靈場地に對する自然 りとして遠近より拜詣する
 敬信の念が湧起するであら 者夥しく平常する者百名以
 う。聞く今より三百年の昔 一人の旅人が病苦のため此
 所に一身を終らんとする時 「我れを祭りくれば我亦人
 の苦難を救ふべし」と言つ して瞑目したのであつたが其
 の當時村人が之れを聞き傳 大規模のものに昭和勲業
 へ常に今日迄供養を怠らな 博覽會を開催せらるゝこゝ
 かつたが、今は村内の徳望 博覽會の通りなるが此の博
 家大山氏が一心不乱に仕守 覺會は尤も植産工業上大な
 者として朝な夕なに敬信怠 る貢献ある有益なる事業と
 始したる以來内容尤も充實 する。

當選 御禮

今般不肖 四度衆議院議員
 の總選挙に際し立候補仕
 候處各位の熱烈なる御同
 情により當選の榮を得候
 段感謝の至り不堪茲に謹
 んで深厚なる謝意を表し
 候

比佐昌平

當選 御禮

今般の衆議院議員選挙に
 際し不肖立候補仕り候處
 各位の熱烈なる御同情に
 より當選の榮を得感謝の
 至りに不堪茲に謹て御禮
 申上げ候

佐藤庄太郎

當選 御禮

今回の衆議院總選挙に際
 し不肖立候補致候處各位
 の絶大なる御同情に依り
 當選の榮を得候段難有御
 厚禮申上候

鈴木辰三郎